

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2024年9月5日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
00W51 2 (0W51 3)	ブリーバラセタム 3L253-0000-022-205	速やかに通心 血漿 0.3	PH5 (G) ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	3~9	特	LC/MS/MS	($\mu\text{g}/\text{mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	裏面参照 &1

特：特定薬剤治療管理料 (SRL総合検査案内 29ページ参照)



● ブリーバラセタム

抗てんかん薬であるブリーバラセタムに関する血中濃度を測定する検査です。

ブリーバラセタム（商品名：ブリィピアクト[®]）は、「てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）」を効能・効果として2024年6月に製造販売承認、同年8月に薬価収載された新しい抗てんかん薬です。

ブリーバラセタムは、脳内の神経終末にあるシナプス小胞タンパク2A（SV2A）に結合することにより作用を発揮する薬剤であり、同様の作用機序を持つレベチラセタムと比較してSV2Aに対し高い親和性を示し選択的に結合することから、その発作抑制作用が期待されています。

本検査は、LC/MS/MSによりブリーバラセタムの血中濃度を測定いたします。血中濃度のモニタリングは、服薬コンプライアンスの評価や薬物相互作用による影響の確認、投与量の調整を行う際の指標となります。

▼疾患との関連

てんかん

▼関連する主な検査項目

レベチラセタム

▼検査要項

検査項目名	ブリーバラセタム
項目コード (旧項目コード)	OOW51 2 (OW51 3)
検体量	速やかに遠心 血漿 0.3 mL
容器	PH5 (G) ヘパリン入り → A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~9 日
検査方法	LC/MS/MS
基準値 (単位) (治療濃度範囲)	($\mu\text{g}/\text{mL}$)
採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)
報告範囲 (単位)	0.10未満、0.10~99999.99 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)
桁数	有効7桁、整数5桁、小数2桁
検査実施料/判断料	特定薬剤治療管理料 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
備考 (製品名、薬剤名等)	ブリィピアクト 採血後、3時間以内に血漿分離してください。 3時間以上の場合、低値となる可能性があります。

&1

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

1. TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

●参考文献

Mohamed S, et al : Ther Drug Monit 42 (3) : 445~451, 2020. (検査方法参考文献)
Feyissa AM : Neuropsychiatr Dis Treat 15 : 2587~2600, 2019. (臨床的意義参考文献)